

「研究総会を通して」



鎌田基予子教育委員

去る11月8日、毎年この時期に行われている『岐阜県市町村教育委員会連合会 研究総会』が、今年がわが恵那市がホストタウンとして開催され、県内の教育委員さんや事務局の方々を恵那文化センターにお招きし、盛大に会を閉じることができました。

「次代を担う人づくりを考える」をテーマに掲げ、それに沿った日程が組まれていたわけですが、なんとと言ってもそのテーマに一番の華を添えてくれたのは、串原中学校の全校生徒による中山太鼓の演奏でした。全員が呼吸を合わせ、

一糸乱れぬ躍動感溢れる演奏。自分たちのホームグラウンドではない文化センターの大きなステージで、観客の姿も、おそらく子どもたちの目にはスーツを着たお堅そうな中年層で気難しく映ったのではないのでしょうか。そんな日常とはかけ離れた条件の中で、あれだけの全力パフォーマンスができた子どもたち。演奏が終わるやいなや前列の方から「すごい！」と思わず発してしまったと思われる感嘆の声を聞き、とても誇らしく思い胸を熱くしました。

演奏中にもひしひしと感じたことですが、ひたむきに演奏する子どもたちの向こうに日々の練習を積み重ねる姿が見えてくるようで、やはり伝統というのは一朝一夕では成り立たないものなのだと思います。繰り返し繰り返し触れていくことで身体に染み付きそして受け継がれていくものなのだと、あらためて子どもたちに教えられたような気がします。

日程の中の講演会では、まさに今の日本を担う経産省官僚 江崎氏による「世界があこがれる日本にする」という力強いお言葉とともに、大変希望の持てるお話を聴かせていただきました。

『還暦の折り返し地点からの第二の人生をいかに生きるか→栄養と睡眠とときめきが大事！』このキーワードだけは忘れないでいようと思います。

私にとっても、大変有意義な一日となりました。

義務教育学校を学ぶ ～教育委員会視察研修～

（教育総務課）



▲義務教育学校の説明を聞く委員

教育委員会では、教育行政の遂行に必要な見識を深めるため、教育委員による視察研修を行っています。

令和元年度は東海北陸社会教育研究大会に参加し、「今こそ問い直す社会教育の意義」をテーマに記念トークライブを拝聴しました。また、平成29年4月に岐阜県の桑原学園、白川郷学園と並び、東海3県で初めての義務教育学校として開校した三重県津市立みさとの丘学園において取り組みについて視察を行いました。

このみさとの丘学園は、旧美里中学校に通っていた小学校3校が、小学校と中学校を同じ1つの学校で9年間の教育を一貫として行っています。小学校課程を「前期課程」、中学校の課程を「後期課程」とし、様々な行事を合同で実施して、中1ギャップの解消や安心して生活できる学校を目指すとともに学力向上も目指してみえました。

校長先生が義務教育学校の利点をよく承知した上で教育課程を編成してみえました。子どもがよく育っており、活気が出てきているということでしたので、大いに参考になりました。

コミュニティー・スクールの成果！ 文部科学大臣表彰を受賞

(学校教育課)

コミュニティー・スクール（CS）がスタートし、2年目の令和元年度は、昨年度つくりあげた組織や
会合、研修会をもとに、「地域に合った具体的な活動を立ち上げる年」という共通理解を持ちました。11
月には地域と学校のコーディネーターとしての役割を担う教頭の研修会で、CSマイスター（大阪府）大
谷裕美子氏による実践的な講話から、具体的な活動イメージを膨らませました。

各CSの活動によって、学校に協力いただく「地域の方のやりがいの高揚」とともに、地域の活動に参
加した子どもたちが地域の方から感謝されることにより得られた「自己有用感の向上」など、双方向な活
動も見られるようになってきました。

本年度は、CS関わった活動が評価され、同じ年に市内の2校が、同時期に文部科学大臣賞をいただ
いたことから、CSの成果は確実に始めていると言えます。（下記に2校について紹介）

岩邑小・中学校

学校運営協議会がハブとなり、地域自治
区と連携し、将来にわたって「自分とふるさ
とを愛する子」を育てる岩邑プランの取組
成果が認められ、「地域学校協働活動」推進
に係る文部科学大臣賞を受賞しました。



恵那東中学校

平成30年度より「恵那東防災リーダー実行
委員会」を発足させ、地域（学校運営協議会）
と協力しながら、全校で防災教育に取り組んだ
成果が認められ、文部科学大臣表彰「全国学校
保健及び学校安全表彰」を受賞しました。



過去最高の82,000人突破！ 誰でも行ける笑顔のスケート場

(恵那スケート場)

クリスタルパーク恵那スケート場は青空の下で気持ち良く滑れる国際規格
の400mのスピードスケートリンクで、市内にある唯一の県のレジャー施設で
す。夏季・冬季共に全国大会が開催されます。冬季シーズンは、2月16日
で終了します。最終日は、感謝デーとして滑走料無料で楽しんでいただけます。

平成29年度、世界で流行っている壁画「天使の羽」を国内で一早く設置し、
インスタ映えで有名になりました。30年度には夏季来場者が初の3万人超え
となり、年間一般来場者が15年目にして過去最高の82,282人となりました。



▲「天使の羽」でハイポーズ



▲クリスマスイベント

年々、スケート人口が減ってきています。子どもたちが来場して、スケート

を見る機会を作れば、興味を持っていただけるのではないかと、いろいろな
イベントを企画し、誰でも気軽に行けるスケート場を目指しています。

他にも新規事業で会社の運動会、車のオフ会、セグウェイ・ドラフトカー
ト体験（土日祝日）等実施しています。いろいろなイベントも開催可能です。
お気軽にご相談ください。

このスケート場で練習している選手から、メダリストが出ることを祈り、
これからも楽しいスケート場を目指していきます。ご来場お待ちしております。